

ヘルプマーク 鉄道会社で導入広がる！



ヘルプマークを導入する鉄道会社が増えています。

関西鉄道事業者20社局では共同マナーキャンペーンで啓発ポスターを掲出し、各社局では優先座席にヘルプマークのステッカーを掲出する取り組みが実施されます。

関東私鉄に広がるヘルプマークの導入

【京浜急行電鉄】 2017年12月15日より京急線全線でポスターを掲出し、全車両の優先駅付近に「ヘルプマーク」のステッカー表示を順次開始している。神奈川県を運行する私鉄としては初めて。

【江ノ島電鉄】 神奈川県が進めている趣旨に賛同して取り組みを始める。2018年9月より、電車内の優先席付近に「ヘルプマーク」のステッカーを掲示。また、全ての駅で普及啓発ポスターの掲示を行っている。

【小田急電鉄】 「ヘルプマーク」がJIS規格に追加されたことで、訪日外国人旅行者も含め、全ての利用者に訴求効果が期待され、関心が高まっていることから2018年2月から全駅に「ヘルプマーク」ポスターを掲出し、2018年6月から全車両の優先席に「ヘルプマーク」ステッカーを表示。

【東京急行電鉄】 2018年3月から駅のモニターで「ヘルプマーク」についての案内を掲出。2018年6月から車両の優先席付近に「ヘルプマーク」のステッカーの掲出開始。

【つくばエクスプレス】 2018年4月より、各車両の車端部（1・6号車の運転台を除く）に設けている優先席付近に「ヘルプマーク」のステッカーを掲出。

JR北海道はすでに導入。JR西日本も導入進める。

【JR北海道】 優先席付近にヘルプマークのステッカー掲出を実施。

【JR西日本】 関西鉄道事業者20社局共同マナーキャンペーンで啓発ポスターを設置。2018年2月以降、順次優先座席付近にヘルプマークを掲出予定。

東京地本は2016年よりヘルプマークの普及に向けて取り組み、会社に対してヘルプマークの宣伝と協力要請を行ってきました。しかし会社は「国の施策ではない」「範囲が広すぎる」などの理由で導入に積極的ではありません。

心豊かな未来を実現するためには、誰もが安心して利用できる鉄道が不可欠です！東京地本は旅のフレゼントで培った経験と連帯を活かし今後もヘルプマークの普及・拡大に向けて取り組んでいきます！